

西 日 本 新 聞

1990年(平成2年)5月26日 土曜日 14版 総合 (2)

来日中の盧泰愚韓国大統領は二十五日午後、迎賓館で日韓議員連盟、日韓親善協会、日韓協力委員会など友好組織代表らの表敬訪問を受け、約三十分間懇談した。この中で、大統領は、国会演説で触れた日韓「海底トンネル」に、日本側が関心を示したのに対し「両国が協力、同伴者関係を結び、一つに和合すれば、満足すべき方向に発展することを確認する」と述べ、日韓関係が深まれば、具体化も夢ではないとの考えを明らかにした。

日韓トンネル 夢じゃない

「海底トンネル」について、日韓親善協会長の田中龍夫元文相が「私の地元の西日本では、海底トンネルという大統領の夢のような話に大きな関心を示しています」と、韓国に近い九州、山口地域での関心の大きさを強調。

同協会理事長の金山元駐韓大使は「トンネルは長い間研究され、資金さえあればつくれる技術が日本にはある。韓国側の協力があれば比較的早くできる」と、技術面では問題はないとの見方を示した。

盧大統領が友好組織代表らと懇談